ミュージックキャッチャーを使う

本機では、CDの曲を本機でSDカードに録音して再生できるミュージックキャッチャーをお楽しみいただけます。

ミュージックキャッチャーに録音する

ミュージックキャッチャーとは、CDのトラックをSDカードに録音し、再生する機能のことです。CDを本機にセットしなくても、ミュージックキャッチャーに録音してあれば、そのCDのトラックを聴けます。

録音する前にお読みください

ミュージックキャッチャーを使用するにはSDカードが必要です。
録り直しのきかない録音の場合は、正しく録音されていることを確認してください。
万が一、本機の故障や誤作動および不具合により録音に支障が生じた場合でも、録音内容および消失した録音データについては補償ができかねます。ご容赦願います。
録音したデータは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使えません。
ノンストップCD（トラックとトラックがつながっているCD）を録音に使用された場合、トラックとトラックの間に2 ～ 3秒の無音部分をはさんで録音します。

MEMO

- 録音中は早送り、早戻し、トラックのアップ／ダウン操作はできません。
- 録音中は操作パネルを開閉することはできません。録音中に ⏏ を押すと、「SDメモリーカード書き込み中のためオープンできません」というメッセージが表示されます。操作を継続される場合はその指示にしたがってください。

録音中にエンジンを切ると、録音中のトラックが消えます。
次回エンジンをかけると、前回録音していたトラックの先頭から録音がはじまります。

録音についてのご注意

録音時の状態について

以下のような場合には、音声が途切れたり音が飛んで録音されることがあります。

- 録音中にCDの音が飛んだ
- 傷があるなどCDの状態が悪い
- 録音中に振動の激しい悪路を走行した

録音中の操作について

録音中に以下の操作を行うと、録音中止の確認メッセージが表示されます。録音を中止する場合は はい を、続行する場合は いいえ をタッチします。

- REC をタッチする
- リピート／スキャン／ランダム再生
- SDカードを使用した操作（データの取り込み／書き出しなど）

録音する

1 CD再生中に REC

2 希望の録音速度を選択



1倍速で録音：
1倍速で録音します。

2倍速で録音：
2倍速で録音します。録音中は、CDを聴くことはできません。

3 希望の録音方法を選択

録音がはじまります。

全曲録音：
再生中のCDのすべてのトラックを録音できます。アルバムの先頭から録音されていないトラックの再生･録音がはじまります。

現在の曲を録音：
再生中のトラックを録音できます。トラックの先頭に戻り、再生・録音がはじまります。

曲を指定して録音：
録音したいトラックをリストから複数選択して録音できます。リストからトラックを選択して 録音開始 をタッチすると、先頭に近い曲から順に再生・録音がはじまります。

MEMO

- 録音モード選択画面にディスクの情報やSDカードの情報が表示されます。SDカードの空き容量が1MB未満の場合、空き容量に「1MB未満です」と表示されます。

ミュージックキャッチャーについて

ミュージックキャッチャーの仕様は、以下のとおりです。

録音可能トラック数：
最大4000トラック（アルバムは最大500枚、1つのアルバムに収録できるトラック数：最大99トラック）
※ただし、SDカードの容量により録音できるトラック数は異なります。付属SDカード（8GB）ではおよそ2000トラックです。

録音できる音源音楽：
音楽CDのみ（**P.11**）

音質：
ATRAC3という音声圧縮技術を採用しています。CDの音質を損なわず、容量を約1/10に圧縮できます。

本機は、SCMS（Serial Copy Management System）の規格に準拠したデジタルオーディオ機器です。SCMSでは、各種デジタルオーディオ機器の間で「デジタル信号をデジタル信号のまま録音する」というデジタル信号どうしのコピーを〈1世代まで〉と規制しております。
したがって、以下の操作を本機で行えません。

- 本機に録音したCDの曲をデジタル出力、デジタルコピーすること
- デジタル録音したCD-RとCD-RWおよびコピーの禁止されているCDを録音すること

タイトル表示について

CDをミュージックキャッチャーに録音すると、本機内蔵のGracenote Music Recognition Service℠のデータベースからタイトル・読み・アーティスト名・ジャンルの情報が取得され、画面上に表示されます。
情報を取得できなかったCDには録音した日付が表示されます。
また、CDや曲によっては、情報の取得ができない場合があります。

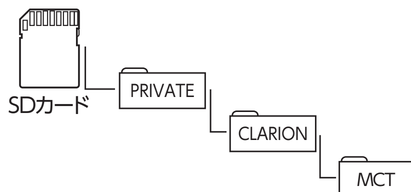
MEMO

- Gracenote Music Recognition Service℠のデータベースは、インターネット上のGracenoteデータベースから最新の情報に更新できます。(P.198)

録音した音楽データについて

録音した音楽データのバックアップ

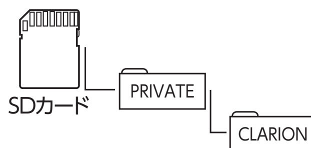
録音した音楽データはSDカード内の以下のフォルダに保存されます。



お使いのパソコンに、このフォルダをそのまま保存することでバックアップできます。

バックアップした音楽データの復元

バックアップした音楽データフォルダ("MCT")をSDカード内の下記フォルダに書き戻すことで復元できます。



このとき、すでに上記フォルダ内に“MCT”フォルダが存在する場合は、バックアップまたは消去してください。

MEMO

- “MCT”フォルダ内に存在するファイルおよびフォルダの消去や変更は絶対に行わないでください。ミュージックキャッチャーが正常に動作しなくなる可能性があります。
- これらの操作は、録音データ保存以外の目的では行わないでください。

ミュージックキャッチャーを聴く

MEMO
- 走行中は、操作できる項目が限定されます。

再生する

1 SDカードを本機にセット

2 ソース選択画面で

MUSIC CATCHER

ミュージックキャッチャー内のトラックが再生されます。



MEMO
- 録音中はミュージックキャッチャーの再生は行えません。録音中に MUSIC CATCHER をタッチすると、「録音中です。録音を中止してもよろしいですか？」という確認画面が表示されます。
- 再生中に操作パネルを開くと、再生が停止します。

早戻し／早送りする

1 再生中に ⏮ （早戻し）または ⏭ （早送り）（長押し）

MEMO
- ⏮ 、⏭ から指を離すと、通常の再生に戻ります。

前／次のトラックを再生する

1 再生中に ⏮ または ⏭

MEMO
- ⏮ を押すとトラックの先頭に戻り、さらに ⏮ を押すごとに前のトラックに移動します。
- ⏭ を押すごとに次のトラックに移動します。

前／次のアルバムを再生する

1 再生中に 前アルバム または 次アルバム

MEMO
- 前アルバム 、次アルバム をタッチするごとに、前／次のアルバムに移動し、アルバム内の先頭のトラックが再生されます。

リピート・ランダム・スキャン再生をする

1 ソース選択画面で
MUSIC CATCHER

2 機能

3 目的の項目を選択



選択した動作での再生がはじまります。

全リピート：
全アルバムの全トラックをリピート再生します。

1アルバムリピート：
現在再生中のアルバム全体をリピート再生します。

1トラックリピート：
現在再生中のトラックのみをリピート再生します。

全トラックランダム：
全アルバムの全トラックをランダムに再生します。

1アルバムランダム：
現在再生中のアルバムの全トラックをランダムに再生します。

全トラックスキャン：
全アルバムの各トラックの出だしを10秒間ずつ再生します。

リストから再生する

ミュージックキャッチャーのリストからアルバムやトラックを選択して再生できます。

1 ソース選択画面で
MUSIC CATCHER

2 再生中のアルバム名を選択

トラックリストが表示されます。

MEMO
- 再生中以外のアルバムを選択した場合は、アルバムリストが表示されたまま先頭のトラックから再生がはじまります。トラックリストを表示するには、もう一度同じアルバムを選択します。

3 トラックを選択



選択したトラックが再生されます。

アーティスト名から再生する

1 ソース選択画面で
MUSIC CATCHER

2 設定 ▶ アーティスト検索

3 アーティスト名を選択

4 アルバムを選択

選択したアルバムの先頭から再生がはじまります。

MEMO
- 選択演奏(P.195)中は、選択演奏の対象となっているアーティストまたはアルバムのみが検索対象となります。

条件から複数のアルバムを選んで再生する

複数のアルバムを指定して再生できます。
アルバムリストからアルバムを指定する方法と、アーティストのすべてのアルバムを指定する方法があります。

1 **ソース選択画面で** MUSIC CATCHER

2 設定 ▶ 選択演奏

3 アルバム選択 **または** アーティスト選択



アルバム選択：
リスト表示されたアルバムから複数のアルバムを指定できます。

アーティスト選択：
リスト表示されたアーティストのすべてのアルバムを指定できます。

MEMO

- すでに選択演奏が設定されているときは、選択演奏解除 が表示されます。選択演奏解除 をタッチし、確認画面で はい をタッチすると、選択演奏を中止します。

4 **アルバムまたはアーティスト名を選択** ▶ 決定

選択した項目が再生されます。

MEMO

- 決定 をタッチした直後は、SDカードに書き込み処理を行うため、操作パネルを開閉できないことがあります。

録音設定を変更する

ミュージックキャッチャーにCDを録音するには、自動と手動の2つの方法があります。

MEMO

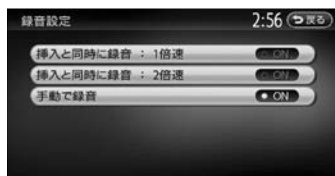
・録音中はSDカードの再生は行えません。

自動録音に切り替える

1 メニュー ▶ 設定

2 オーディオ ▶ 録音設定

3 挿入と同時に録音:1倍速 または 挿入と同時に録音:2倍速



挿入と同時に録音：1倍速：
CD挿入時に1倍速でCDが録音されます。

挿入と同時に録音：2倍速：
CD挿入時に2倍速でCDが録音されます。2倍速で録音中は、CDを聴くことはできません。

自動で録音する

1 SDカードを本機にセット

2 CDを再生する

自動的に録音がはじまります。

MEMO

・録音時は、画面左下に REC×1 または REC×2 が表示されます。
・全曲が録音されている場合、録音は行われません。

アルバム・トラック情報を編集する

MEMO
- 選択演奏中は、タイトル編集 は選べません。タイトルやトラック名を編集したいときは、選択演奏を解除してください。
- アルバム･トラック情報の編集中や操作直後は、SDカードに書き込み処理を行うため、操作パネルを開閉できないことがあります。

アルバム名、アーティスト名を編集する

1 ソース選択画面で MUSIC CATCHER
2 設定 ▶ タイトル編集
3 アルバムを選択
4 アルバム または アーティスト
5 アルバム名またはアーティスト名を入力 ▶ 決定

アルバム情報が編集されます。

MEMO
- アルバム名、アーティスト名は全角・半角で20文字まで入力できます。

アルバムを消去する

MEMO
- 一度消去したアルバムは元に戻せません。

1 ソース選択画面で MUSIC CATCHER
2 設定 ▶ 曲の消去
3 消去するアルバムを選択 ▶ 決定

MEMO
- 複数のアルバムを選択できます。

4 はい

選択したアルバムが消去されます。

アルバムの再生順序を並べ替える

1 ソース選択画面で MUSIC CATCHER
2 設定 ▶ アルバム並べ替え
3 移動させたいアルバムを選択
4 移動先を選択

選択した位置にアルバムが移動します。
確認メッセージが表示され、アルバムリスト画面に戻ります。
アルバムリスト画面に戻ると、先頭のアルバムから再生がはじまります。

トラック名を編集する

トラック名を編集できます。

1 ソース選択画面で MUSIC CATCHER
2 設定 ▶ タイトル編集
3 編集するトラックを含むアルバムの 詳細

トラックリストが表示されます。

4 トラックを選択
5 トラック名を入力 ▶ 決定

トラック名が編集されます。

MEMO
- トラック名は全角・半角で20文字まで入力できます。

トラックを消去する

MEMO
- 一度消去したトラックは元に戻せません。

1 ソース選択画面で MUSIC CATCHER
2 設定 ▶ 曲の消去
3 消去するトラックを含むアルバムの 詳細

トラックリストが表示されます。

4 消去するトラックを選択 ▶ 決定

MEMO
- 複数のトラックを選択できます。

5 はい

選択したトラックが消去されます。

アルバム情報の取り込み／書き出し

アルバム情報の更新について

SDカードとパソコンを使用してアルバム情報を更新できます。
録音の際に、本機に内蔵のGracenote Music Recognition Service[SM]から取得したアルバム情報をSDカードとパソコンを使用して、インターネットのGracenoteのデータベースから最新の情報に更新できます。
本機能を使用するには、インターネットに接続できるパソコン、情報を取得するためのパソコン用専用アプリケーション「ナビマスター S」が必要になります。(P.273)

アルバム情報を取り込む

1 ソース選択画面で MUSIC CATCHER
2 設定 ▶ アルバム情報の取り込み
3 はい

SDカード内のアルバム情報が本機に取り込まれます。

アルバム情報を書き出す

1 ソース選択画面で MUSIC CATCHER
2 設定 ▶ アルバム情報の書き出し
3 アルバムを選択 ▶ 決定
4 はい

選択したアルバム情報がSDカードに書き出されます。